

課・タイトル	L14 アドバイスする
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で、困っている人に簡単なアドバイスをすることができる。 ・旅行を考えている人などに、どんなところか簡単に説明して、どうしたらいいかなど参考になることを伝えることができる。

パート	L14-1 びょういんへ 行った ほうが いいですよ				
できること	<ul style="list-style-type: none"> ・体調が悪そうな人に声をかけることができる。 ・簡単なアドバイスができる。 				
場面設定	会社で仕事をしています。サラさんは同僚のりさんの体調がよくなさそうな様子に気がついて、声をかけます。				
場面会話	<p>用意するもの 紙コップ、ノートパソコン、書類</p> <p>指導のポイント 体調が悪そうな人に声をかけ、どうしたらいいかアドバイスをするときの話し方を学びます。また、声をかけられたときの答え方も練習します。 3コマ目の「～ほうがいいですよ」と4コマ目の「～ほうがいいと思いますよ」は、大きな違いはありません。</p>				
練習1	<p>用意するもの つめたいものを飲まないほうがいいです びょういんへ行ったほうがいいです 出かけないほうがいいです 早くねたほうがいいですよ のことばカード ～ないほうがいいです ～たほうがいいです の文型カード 基本動詞ない形のフラッシュカード数組、基本動詞た形のフラッシュカード数組 * 基本動詞はL7授業のヒントに記載</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">たべます</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">たべます</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">たべない</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">たべた</td> </tr> </table> <p>「～ないほうがいいです」 テキスト p.292① 場面会話の3コマ目の絵を見せて、会話をさせます。セリフを見せて、「つめたいものを飲まないほうがいいですよ」に注目させます。「つめたいものを飲まないほうがいいです」のことばカードを貼ります。続いて、①のモデル会話の絵を見せて、音声聞いてリピートさせ、セリフを見せます。「出かけないほうがいいです」のことばカードを貼って、「動詞ない形+ほうがいいです」という形に注目させます。続いて、かぜをひいたときしないほうがいいことをいくつかあげさせて、「～ないほうがいいです」を使って言わせます。「～ないほうがいいです」がしないほうがいいことを表すことを確認した後、文型カードを貼ります。 基本動詞ない形のフラッシュカードを使って、動詞ます形を「動詞ない形+ほうがいいです」に言いかえる練習をします。学習者を4、5人のグループにして、各グループにフラッシュカードを配布して、グループで練習させます。続いて、1)～4)の絵を見せて、代入練習をします。</p> <p>「～たほうがいいです」 テキスト p.292②</p>	たべます	たべます	たべない	たべた
たべます	たべます				
たべない	たべた				

	<p>場面会話の4コマ目の絵を見せて、会話をさせます。セリフを見せて、「びょういんへ行ったほうがいいと思いますよ」に注目させます。「びょういんへ行ったほうがいいです」のことはカードを貼ります。続いて、②のモデル会話の絵を見せて、音声を聞いてリピートさせ、セリフを見せます。「早くねたほうがいいです」のことはカードを貼って、「動詞た形+ほうがいい」であることを確認します。続いて、かぜをひいたときにしたほうがいいことをいくつかあげさせて、「～たほうがいいです」を使って言わせます。「～たほうがいいです」がしたほうがいいことを表すことを確認した後、文型カードを貼ります。</p> <p>基本動詞た形のフラッシュカードを使って、動詞ます形を「動詞た形+ほうがいいです」に言いかえる練習をします。学習者を4、5人のグループにして、各グループにフラッシュカードを配布して、グループで練習させます。続いて、1)～4)の絵を見せて、代入練習をします。</p>						
練習2	<p>用意するもの</p> <p>ひどくなる 大きくなりました じょうずになりました 大学生になりました 11月になりました これからさむくなります しごともいそがしくなります べんりになりました のことはカード ～くなります ～になります の文型カード *～になりますは2枚用意</p> <p>基本い形容詞[～く]のフラッシュカード数組 *基本い形容詞は「L8_授業のヒント」に掲載</p> <table border="1" data-bbox="343 862 518 963"> <tr><td>おおきい</td></tr> <tr><td>おおきく</td></tr> </table> <p>基本な形容詞[～に]のフラッシュカード数組 *基本い形容詞は「L8_授業のヒント」に掲載</p> <table border="1" data-bbox="343 1008 518 1108"> <tr><td>げんき</td></tr> <tr><td>げんきに</td></tr> </table> <p>名詞[～に]のフラッシュカード数組 *基本い形容詞は「L8_授業のヒント」に掲載</p> <table border="1" data-bbox="343 1153 518 1254"> <tr><td>大学生</td></tr> <tr><td>大学生に</td></tr> </table> <p>*「～になります」の形に合う名詞の例： [身分]大学生、高校生、中学生、小学生、大人、課長、部長、社長 [職業]先生、会社員、観光ガイド、エンジニア、医者 [季節・月・時刻]春、夏、秋、冬、1月～12月、1時～12時 [その他]病気、休み、</p> <p>「～くなります」</p> <p>テキスト p.293②①</p> <p>場面会話4コマ目の絵を見せて、会話をさせます。セリフを見せて、「ひどくなる」に注目させ、ことはカードを貼ります。続いて、①のモデル会話の絵を見せて、音声を聞かせ、リピートさせ、「大きくなりました」のことはカードを貼ります。い形容詞「～い」が「～く」に活用していることを確認して、「～くなります」の文型カードを貼ります。</p> <p>続いて、い形容詞[～く]のフラッシュカードを使って、い形容詞「～い」から「～くなります」に活用させる練習をします。学習者を4、5人のグループにして、フラッシュカードを配布し、グループで練習させます。</p> <p>活用ができるようになったら、1)～3)の代入練習をします。</p>	おおきい	おおきく	げんき	げんきに	大学生	大学生に
おおきい							
おおきく							
げんき							
げんきに							
大学生							
大学生に							

	<p>「～になります」</p> <p>テキスト p.294②</p> <p>②のモデル会話の絵を見せて、音声を聞かせ、リピートさせ、「じょうずになりました」のことばカードを貼ります。な形容詞「～」が「～に」に活用していることを確認し、「～になります」の文型カードを貼ります。</p> <p>続いて、な形容詞[～に]のフラッシュカードを使って、な形容詞「～」から「～になります」に活用させる練習をします。学習者を4、5人のグループにして、フラッシュカードを配布し、グループで練習させます。</p> <p>活用ができるようになったら、1)2)の代入練習をします。</p> <p>続いて3)の絵を見て、なんと言うか考えさせ、「大学生になりました」と言ってことばカードを貼ります。「名詞+になります」の形を確認し、文型カード「～になります」を貼ります。名詞[～に]のフラッシュカードを使って、言いかえ練習をさせます。その後、学習者同士で、将来何になりたいか、質問し合わせてもいいでしょう。</p> <p>テキスト p.294③④⑤</p> <p>③では、昨日までは天気が悪かったが、今朝は晴れていることを確認した後、会話を考えさせて、発表させます。「いい」が「よく」になることを確認させます。</p> <p>④では、10月が終わって11月になったことを確認して、会話を考えさせて、「11月になりました」と言わせ、ことばカードを貼ります。次に、今は寒くないけれどこれから寒くなること、今は忙しくないけれど年末になると忙しくなることを確認して、会話を考えさせて、発表させます。適当な表現かどうかを確認し、「これからさむくなります」「しごともいそがしくなります」「べんりになりました」のことばカードを貼ります。ことばカードの文末に注目させ、完了したことは「なりました」、これからのことは「なります」になることを確認します。</p>
はなしましょう	<p>用意するもの</p> <p>なし</p> <p>できますか？</p> <p>学校で学生のキムさんは友だちのタンさんの声が変わるのに気づいて「どうしたの？」と声をかけます。タンさんは風邪だと答えます。キムさんが薬を飲んだかと聞くと、タンさんは飲んでいないと答えます。そこで、キムさんが早く帰ったほうがいいと言うと、タンさんは今夜は飲み会に行くと言います。キムさんは驚いて、飲み会に行かない方がいい、風邪がひどくなると言います。</p> <p>じゆうにはなしましょう</p> <p>①会社で体調が悪そうな人(B)がいます。②駅でしゃがんで体調が悪そうな人(B)がいます。AがBに声をかけます。学習者を2人組にして会話を考えさせて、発表させてください。</p>

パート	L14-2 ネットで さがせば、いろいろ あるよ
できること	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決のための情報を伝えることができる。 ・自分ができること、できないことを言うことができる。
場面設定	留学生のラマさんとキムさんが休み時間に飲み物を飲みながら話しています。
場面会話	<p>用意するもの</p> <p>紙コップ、ノートパソコン</p>

	<p>指導のポイント</p> <p>L14-1 の体調の悪い人に対する緊迫感のあるアドバイスとは異なり、ゆったりした余裕のある話し方になるよう、声のトーンや表情に注意させます。</p>				
練習1	<p>用意するもの</p> <p>ネットでさがせば、いろいろあるよ 毎日えきまであるけば、やせますよ</p> <p>あまいものを食べなければ、やせますよ さがします さがせば あるきます あるけば たべます たべれば</p> <p>します すれば きます くれは たべません たべない たべなければ のことはカード</p> <p>基本動詞仮定形のフラッシュカード数組 * 基本動詞は「L7_授業のヒント」に掲載</p> <table border="1" data-bbox="343 571 518 683"> <tr><td>たべます</td></tr> <tr><td>たべれば</td></tr> </table> <p>基本動詞否定形の仮定形のフラッシュカード数組 * 基本動詞は「L7_授業のヒント」に掲載</p> <table border="1" data-bbox="343 728 518 840"> <tr><td>たべない</td></tr> <tr><td>たべなければ</td></tr> </table> <p>本1冊</p> <p>「～ば、～」</p> <p>動詞仮定形の作り方</p> <p>テキスト p.298①</p> <p>場面会話の1コマ目を見せて、会話をさせます。セリフを見せて、「ネットでさがせば、いろいろあるよ」に注目させ、ことばカードを貼ります。続いて、①のモデル会話の絵を見せて、音声を聞かせて、リピートさせます。「毎日えきまであるけば、やせますよ」「あまいものを食べなければ、やせますよ」に注目させ、ことばカードを貼ります。「～ば、～」の文型カードを貼った後、「さがせば」「あるけば」「食べなければ」に注目させ、それぞれの下に「さがします」「あるきます」「たべません」のことばカードを貼り、「～ば」が仮定形であることを示します。</p> <p>続いて、動詞の仮定形の作り方を練習します。まず「さがします」「あるきます」のことばカードと「さがせば」「あるけば」を対比させて、「ます」の前がイ段からエ段に活用していることに気づかせます。その後、フラッシュカードで1グループの動詞のます形を見せて、仮定形に活用させていきます。活用ができるようになったら、学習者を4、5人のグループにして、各グループに1グループの動詞のフラッシュカードを配布して、仮定形に活用する練習をさせます。次に、2グループの動詞「たべます」の仮定形は「たべれば」であることを示し、ことばカードを貼ります。ことばカードを見て、作り方は「ます」をとって「れば」を付けることだと示します。他の2グループの動詞のフラッシュカードを使って、仮定形に活用させた後、4、5人のグループで1グループについて同様に練習をさせます。続いて3グループの動詞「します」「きます」が「すれば」「くれば」になることを示し、他の3グループの動詞で練習をさせます。動詞のグループ別に活用ができるようになったら、全てのフラッシュカードを混ぜて、すらすら活用できるように練習させます。</p> <p>続いて、「たべません」と「たべない」「たべなければ」のことばカードを貼り、対比させて、動詞ない形「～ない」が「～なければ」になることを示し、動詞否定の仮定形のフラッシュカードを使って活用させます。学習者を4、5人のグループにして、各グループに動詞否定の仮定形のフラッシュカードを配布して、ない形を仮定形に活用する練習をさせます。</p>	たべます	たべれば	たべない	たべなければ
たべます					
たべれば					
たべない					
たべなければ					

	その後、学習者を2人組にして、1)～3)の絵を見て、代入練習をさせます。
練習2	<p>用意するもの</p> <p>できる できます できません のことばカード</p> <p>「できます」「できません」</p> <p>テキスト p.299-p.300①②③</p> <p>場面会話の5コマ目を見せて、会話をさせます。セリフを見せて、「だいじょうぶ。できるよ」に注目させ、「できる」のことばカードを貼ります。続いて、モデル会話の絵を見せて、音声を聞かせて、リピートさせ、「できます」「できません」に注目させ、ことばカードを貼ります。その後、学習者に実際にモデル会話の絵の動作をさせてみて、できるかできないかを言わせます。</p> <p>L14-2は「能力がある」という意味の「できます」の使い方の練習をしますが、L14-1には新たに出現したという意味の使い方の「新しいコンビニができたね。」が、L14-3には事物が完成したという意味の使い方「めがねが30分でできます。」が、練習問題の中に出ています。これらの「できます」の意味のちがいは学習者は会話の流れでわかりますので、とりたてて説明はしません。学習者から質問が出た場合は、p.299②のモデル会話のイラストの動作をさせたり、利き手でない方の手で文字を書かせたりして、できたらガッツポーズの動作とともに「私はできます」と言わせて、能力を表すことを確認させます。続いて、近くに新しい店があるかどうか、いつできたかを言わせて、それはガッツポーズをするものではないこと、能力ではないことを確認させます。紹介だけで使い方の練習はしません。</p>
はなしましょう	<p>用意するもの</p> <p>数校の大学のパンフレット</p> <p>観光地の写真 *学習者に、自分が知っている観光地の写真を用意させるといいでしょう。</p> <p>できますか？</p> <p>留学生のタンさんとマリーさんが話しています。タンさんが「日本語が上手にならない」とぼやくのを聞いて、マリーさんが日本人と話したら上手になるとアドバイスをします。しかし、タンさんは日本人の友だちがいない人はどうしたらいいかとマリーさんに聞きます。すると、マリーさんはいい方法があると言って、日本語の勉強のアプリを紹介しします。タンさんが一人でできるかどうか心配だと言うと、マリーさんは「だいじょうぶ、できるよ。」と励まします。</p> <p>じゆうにはなしましょう</p> <p>①Aさんは学生です。先生と進学の相談をしています。先生は大学の説明会に行くなど、どうすればいいかアドバイスをします。先生役の学習者に大学のパンフレットを見せるなどして、どんなアドバイスをしたらいいか考えさせてから会話をさせます。</p> <p>②Aさんは観光地の写真を見て行ってみたいと思い、Bさんに、写真の場所はどこか、いくらぐらいかかるかなどいろいろ聞きます。Bさんは行き方やいつがいいか、何をしたらいいかなど、いろいろアドバイスします。</p> <p>学習者を2人組にして、自由に会話を考えさせて、発表させてください。</p> <p>②はBが知っている観光地の写真をスマホでAに見せながら話をさせてもいいでしょう。</p>

パート	L14-3 行って みたら どうですか		
できること	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行先などについて、行ったことがあるかどうか聞くことができる。 ・旅行先などについて簡単に説明したり、アドバイスしたり、提案したりできる。 		
場面設定	会社員のアティさんとサラさんがお茶を飲みながらテレビを見ている。アティさんがテレビに映し出された寺の映像を見て、サラさんにどこかと聞きます。		
場面会話	<p>用意するもの カレンダー、日本の観光地の写真</p> <p>指導のポイント</p> <p>旅行先について、いつ行ったらいいか、何がいいかなど簡単に紹介することが課題です。</p> <p>場面会話を始める前に、日本の観光地の写真を見せて、日本で旅行したことがあるかどうか、どこへ行ったか、いつ行ったか、何をしたか、何がよかったかなどを話し合わせます。</p> <p>ここでは、助言・提案の表現として「～たら、どうですか」「～たら、どう？」を学習します。既習の関連表現としては、感想を聞く「どうですか」「どうでしたか」をL6-3で、その普通体「どう?」「どうだった?」をL7、L8で学習しています。また、L13-1では、ある事柄が終了した後で行動することを表す、「～たら、～」を学習しました。</p> <p>L13-1で相手の発話をもとに情報を提供するときを使う「名詞＋なら」の形を練習しました(「わしょくならいい店をしていますよ」)。このパートでは、同様の使い方「動詞辞書形＋なら」の形を練習します。</p>		
練習1	<p>用意するもの</p> <p>きょうとへ行くなら、あきがいいと思います ほっかいどうへ行くなら、ひこうきははやいです</p> <p>ほっかいどうへ行くなら、ふねもあります のことばカード</p> <p>「～なら、～」の文型カード</p> <p>基本動詞辞書形のフラッシュカード数組 * 基本動詞は「L7_授業のヒント」に掲載</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td style="padding: 5px;">たべます</td></tr> <tr><td style="padding: 5px;">たべる</td></tr> </table> <p>「～なら、～」</p> <p>テキスト p.304 1 ①</p> <p>場面会話の3コマ目の絵を見せて会話をさせます。セリフを見せて、「きょうとへ行くなら、あきがいいと思います」に注目させ、ことばカードを貼ります。続いて、1のモデル会話の絵を見せて、音声を聞かせ、リピートさせます。「ほっかいどうへ行くなら、ひこうきははやいです。」「ほっかいどうへ行くなら、ふねもあります」のことばカードを貼り、「行くなら」に注目させ、「動詞辞書形＋なら」の形であることを確認し、「～なら、～」の文型カードを貼ります。動詞辞書形のフラッシュカードを使って、動詞ます形を「動詞辞書形＋なら」の形に言いかえる練習をします。学習者を4、5人のグループにして、各グループにフラッシュカードを配布して、グループで練習させます。続いて、①の絵を見せて、学習者を2人組にして、会話をさせます。その後、「めがね」を他の物にかえて、2人で会話を考えて、発表させます。</p>	たべます	たべる
たべます			
たべる			

	<p>テキスト p.304②③④</p> <p>④の絵を見せて、学習者を2人組にして会話をさせます。相手をかえて、いろいろな国の学習者と会話をさせます。学習者の国が同じ場合は「国」を学習者の出身の「町」にかえて会話をさせるといいでしょう。</p>		
<p>練習2</p>	<p>用意するもの</p> <p>行ってみたら、どうですか <input type="text" value="りょこうがいしゃにたのんだら、どうですか"/> のことばカード</p> <p><input type="text" value="～たら、どうですか"/> の文型カード</p> <p>50 音図</p> <p>基本動詞た形フラッシュカード数組 * 基本動詞は「L7_授業のヒント」に掲載</p> <table border="1" data-bbox="341 573 509 622"> <tr><td>たべます</td></tr> </table> <table border="1" data-bbox="341 622 509 678"> <tr><td>たべた</td></tr> </table> <p>大学のパンフレット</p> <p>「～たら、どうですか」</p> <p>テキスト p.305①</p> <p>場面会話5コマ目の絵を見せて、会話をさせます。セリフを見せて、「行ってみたら、どうですか」に注目させ、ことばカードを貼ります。次にモデル会話の絵を見せて、音声を聞かせ、リピートさせます。絵の人物のセリフを見せた後、「りょこうがいしゃにたのんだら、どうですか」のことばカードを貼ります。</p> <p>ことばカードを見て、「動詞た形＋ら、どうですか」の形を確認させ、「～たら、どうですか」の文型カードを貼ります。続いて、動詞た形のフラッシュカードを使って、動詞ます形を「動詞た形＋ら、どうですか」に言いかえる練習をさせます。始めに全員で練習し、その後、学習者を4、5人のグループにして、各グループにフラッシュカードを配布して、グループで練習させます。</p> <p>続いて、①の絵を見せて、学習者を3人組にして、会話を練習させます。その後、「わしょくの店」を「イタリア料理の店」「くつの店」などにかえて、グループで会話を考えて、発表させます。</p>	たべます	たべた
たべます			
たべた			
<p>練習3</p>	<p>用意するもの</p> <p><input type="text" value="きょうとへ行ったことがありますか"/> <input type="text" value="いいえ、行ったことがないんです"/></p> <p><input type="text" value="スキーをしたことがありますか"/> <input type="text" value="はい、あります"/> <input type="text" value="いいえ、ありません"/></p> <p><input type="text" value="なっとう、食べたことがある？"/> <input type="text" value="うん、ある"/> <input type="text" value="ううん、ない"/> のことばカード</p> <p><input type="text" value="～たことがあります"/> の文型カード</p> <p>なっとう</p> <p>「～たことがあります」</p> <p>テキスト p.306①</p> <p>場面会話の2コマ目を見せて会話をさせます。セリフを見せて、「きょうとへ行ったことがありますか」「いいえ、行ったことがないんです」に注目させ、ことばカードを貼ります。そして、学習者に京都へ行ったことがあるかどうか問いかけます。行ったことがあると答えた学習者にはいつ行ったか、どうだったかを聞き、行ったことがないと答えた学習者には行きたいかどうかを聞きます。続いて、①のモデル会話の絵を見せて、音声を聞かせ、リピートさせます。セリフを見せて、「スキーをしたことがありますか」「はい、あります」「いいえ、ありません」に注目させ、ことばカードを貼ります。貼ってあることばカードを見て、「動詞た形＋ことがあります」の</p>		

	<p>形を確認させ、「～たことがあります」の文型カードを貼ります。続いて、学習者に実際にスキーをしたことがあるか、聞いてみて、先と同様に、したことがあると答えた学習者にはいつしたか、どうだったかを聞き、したことがないと答えた学習者にはしたいかどうかを聞きます。</p> <p>その後、1)～3)の絵を見せて、代入練習をさせます。</p> <p>テキスト p.306②</p> <p>②のモデル会話の絵を見せて、A、Bが友だちであることを伝え、学習者を2人組にして、会話を考え、練習させます。その後、音声を聞かせ、リピートさせます。セリフを見せて、「なっとう、食べたことある?」「うん、ある」「うん、ない」のことばカードをはります。①と比較して、普通体の会話の形を確認します。「ことがある」の「が」、「なっとうを食べます」の「を」が省略されていることを確認します。普通体の会話では助詞「を」「が」「に」などを省略することがあると伝えます。</p> <p>続いて、1)～3)の代入練習をさせます。</p> <p>テキスト p.306③④</p> <p>④は、学習者に自由に考えさせて、互いに聞き合いをさせます。「ある」と答えた相手には、「いつ」「どうだったか」を聞かせ、「ない」と答えた相手には「してみたいかどうか」を聞かせます。相手をかえて、互いの経験を聞き合う練習をさせます。</p>
<p>はなしましょう</p>	<p>用意するもの</p> <p>沖縄の写真、自分の国の有名な場所の写真</p> <p>できますか?</p> <p>会社員のりさんが沖縄の写真を見ている。同僚のアティさんがそれを見て、どこかと聞きます。りさんは沖縄と答え、去年行ったと言います。続けて、りさんがアティさんに沖縄に行ったことがあるかどうか聞くと、アティさんはないと答え、行きたいと言います。それを聞いて、りさんは、沖縄へ行くなら10月がいい、その理由は天気がいいからだと言います。さらに、続けて、10月に連休があるから、そのとき沖縄へ行ったらいいとすすめます。</p> <p>じゆうにはなしましょう</p> <p>AさんとBさんは友だちで、写真を見て話しています。写真はBさんの国の有名な場所の写真です。学習者を2人組にして、自由に会話を考えさせて、発表させてください。</p>
<p>アクティビティ</p> <p>—</p>	<p>用意するもの</p> <p>紙またはミニホワイトボード</p> <p>はなしましょう</p> <p>学習者に漢字の勉強はどうかと聞き、どんな方法で勉強しているかを問いかけます。その後、「はなしましょう」の絵を見せて、絵の人物がどんなアドバイスをしているか、考えさせます。その後、学習者を3、4人のグループにして、漢字の勉強が大変だという人にいい方法を教えるようにと指示し、考えさせて、発表させます。</p>

	<p>アドバイスを しましょう</p> <p>学習者に自分の困っていることを紙に書かせて、集めます。学習者を3人組にして、各グループに困っていることを書いた紙を配ります。各グループは、配られた紙に書いてある困っていることについてどうしたらいいかアドバイスを考えて、発表します。</p>
<p>よみましょう</p>	<p>指導のポイント</p> <p>新しい病院ができたという新聞の記事を読みます。</p> <p>ペアで新しい病院がどんな病院か、読んでわかったことを絵にかかせてもいいでしょう。</p>
<p>かきましょう</p>	<p>指導のポイント</p> <p>書く活動に入るまえに、「よみましょう」で読んだことをもとに、まず、クラス全体で自分の国や町の病院について話させます。次に、2人組にして話し合わせます。その後、それぞれ自分の国や町の病院について書きます。</p>